

専 門 教 養
令和 2 年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
中・高等学校共通 <b>国 語</b>

## 注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、24ページです。はじめにページ数を確認してください。
- 7 解答用紙に、**必要事項の記入やマークがない場合や誤っている場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

## 解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。問題には、選択肢から選び解答する場合や、数字又は符号（-）を入れて問題文を完成させて解答する場合などがあり、解答方法が複数ある場合とどれか一つの場合とがあります。
- 2 「解答番号は 

1
---

。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 

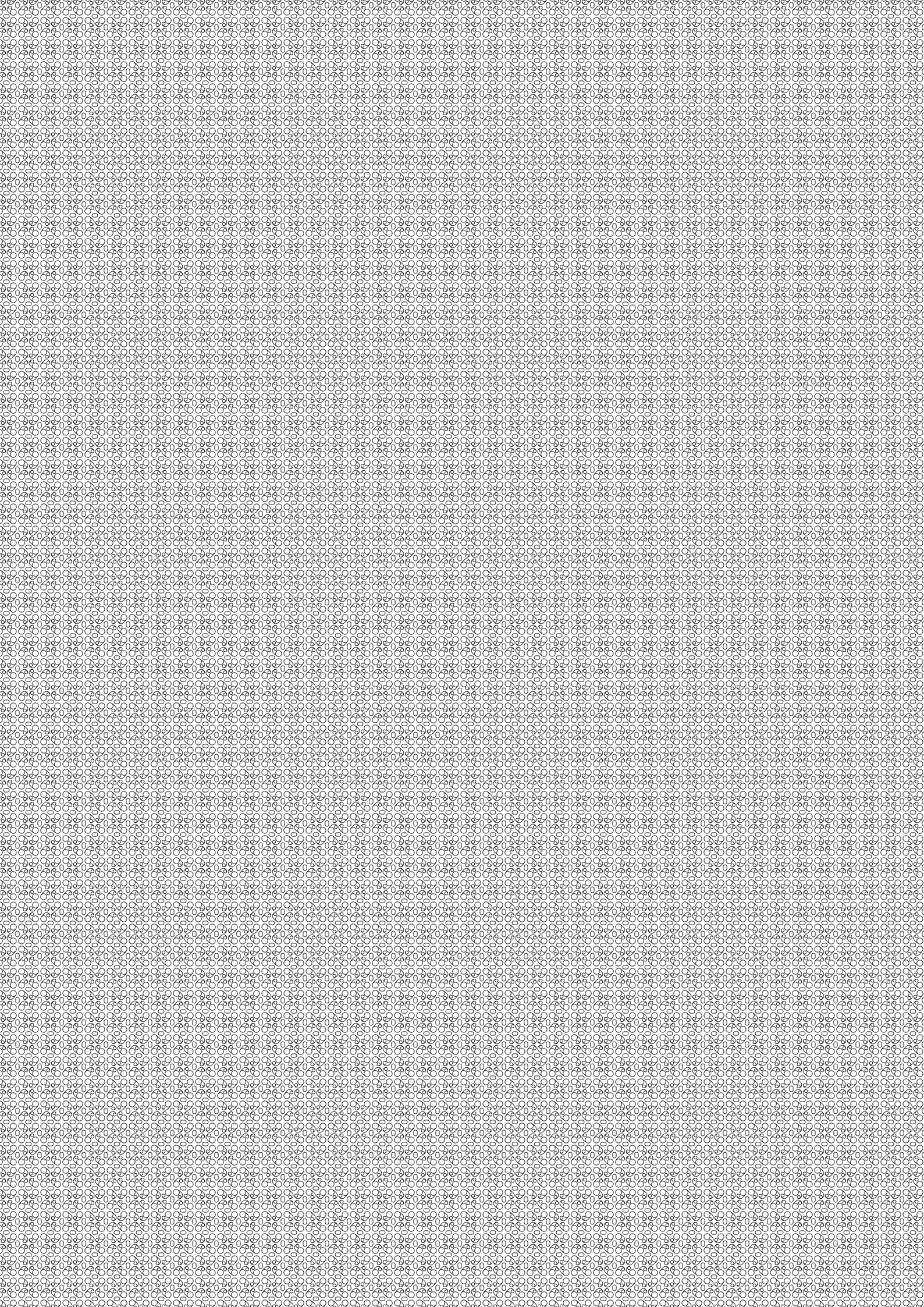
1
---

 の解答欄の③にマークしてください。

（例1）

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



—

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

---

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(佐々木毅「学ぶとはどういうことか」による)

問1 傍線部(ア)～(ウ)のカタカナを漢字に直したとき、その漢字と組み合

わせて二字熟語になるものは、次の各群の1～4のうちのどれか。

解答番号は(ア)が 、(イ)が 、(ウ)が 。

(ア) オウシエウ

4 3 2 1  
報 世 聞 欧

(イ) ヨギ

4 3 2 1  
牲 式 似 善

(ウ) フンサイ

4 3 2 1  
射 矢 励 飾

問2 傍線部(1)

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

「とあるが、それはなぜか。その理由として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 4。

1 専門家が問題の確定を技術的合理性の枠に収めることは、技術的にきれいに解決する問題だけを扱い、結果的に合理的な解決に至らないことを無視する態度と捉えられる可能性があるから。

2 専門家が技術的合理性の枠に収まらない問題を取り上げないことは、素人には問題解決の方法が理解できるはずはないと考えて、説明を放棄する態度であると受け取られる可能性があるから。

3 専門家が取り組む対象を技術的合理性の枠に収めることは、現実の問題が、専門的知識によって解決できるほど容易ではないと考える悲観的な態度と受け取られる可能性があるから。

4 専門家が技術的合理性の枠に収まるものだけを問題とすることは、解決が求められている困難な現実に対応できないことを棚に上げて、無関心を装う態度と捉えられる可能性があるから。

問3 傍線部(2)

「とあるが、」 \* 「  
の例として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 5。

1 素人が、自らの問題に専門家がどう応えるかということに不安を抱えていて、解決を任せきれない現象。

2 問題の設定・確定が困難な場面において、素人が、専門家ならば専門外の問題も解決できると期待する現象。

3 専門家から科学に関する難しそうな専門的知識を聞いた後で、素人が、「 \* 「と口走る現象。

4 専門家が、素人から学問の追究について質問をされ、「 \* 「と答える現象。

問4 傍線部(3)「

」とあるが、

「理由を説明したものととして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

6。

1 問題が確定した後の実践の場では、決まった手順で解決されることが多くなるため、専門家の活動の「」が進み、専門知への安住が起こるから。

2 世の中が安定していればいるほど、専門外の知識に対する関心が低くなるため、そこから脱却して知識への意欲を持ち続けることが求められるようになるから。

3 実践の場における問題の対応は、定例化し繰り返し処理することが多い上に、困難な知的作業が繰り返されるため、専門家の偏狭さや頑固さが露わになるから。

4 実践の場では、合理化された技術で全ての問題に対応することは困難なため、専門家による過去の経験の意識化が重要となり、

「」が起こるから。

問5

Ⅷ 段落の役割について述べたものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

7。

1 前の段落までに述べた結論に対して、Ⅷ 段落では、前の段落とは別の視点から論を展開し、筆者の主張を補足している。

2 前の段落までに一般論から導いた問題点を示し、Ⅷ 段落では、前の段落を踏まえた筆者の主張を具体的に述べている。

3 前の段落までに述べた具体的な事象から起きた課題を、Ⅷ 段落で簡潔に言い換えて、次の段落につなぐ役割をしている。

4 前の段落までに述べた具体的な事象を受け、Ⅷ 段落では、抽象的に言い換えて、筆者の主張を強調している。

問6 次の記述は、高等学校国語科「論理国語」を履修する生徒が、傍

線部(4)「

＊

「という部分について考えたことを発言した内容である。この発言を受けた教師の指導内容として最も適切なものは、後の1～4のうちではどれか。解答番号は 8。

生徒 「 ＊ 「になるためには、問題の確定をするために専門的知識を増やし、合理的な解決能力を高めることが求められるということが分かりました。中には「 ＊ 「した環境で早い問題解決を望み、技術的合理性に全てを委ねようとする「 ＊ 「もいます。両者を分けるものは、問題解決の「 ＊ 「専門家がいるという社会的使命を自覚することだと理解しました。

1 問題解決の際に、専門的知識だけに頼ることができないことを理解していることが、「 ＊ 「と「 ＊ 「を分けるという指摘については評価しつつ、III 段落を読ませて、問題確定のために必要な筆者の主張を確認させてから、技術的合理性の限界についてももう一度考えさせる。

2 「 ＊ 「についての問題点に言及したことは評価しつつ、V 段落を読ませて、専門家に憧れる若い人々が、専門

的知識を崇拝するという筆者の主張を踏まえて、「 ＊ 「  
「が生まれる背景について理解させた上で、「 ＊ 「  
との違いについてももう一度考えさせる。

3 専門的知識の有用性や、「 ＊ 「と「 ＊ 「  
が合理的な解決能力をどのように捉えているかについて言及した  
ことについては評価しつつ、VI 段落を読ませて、両者を分け  
る分水嶺について理解させた後で、将来専門家として素人に向き  
合う上で必要な態度についてももう一度考えさせる。

4 「 ＊ 「と「 ＊ 「の特徴を対比的に捉え  
ていることや、それらを分けるのは専門家自身の気付きである  
ということを理解していることは評価しつつ、IV 段落を読ませ  
て、「 ＊ 「が取り組む問題確定の困難さについて理解  
させることで、両者の違いについてももう一度考えさせる。



次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

これは話好きな山谷五兵衛が自分に話してくれた話である。  
有名な画家である白雲には、泰山という無名の書家の弟がいる。兄の画は高値で売れるが、弟の書は誰も買い手がいない。この兄弟のよいことは有名で、兄は弟のために、二か月か三か月に一つ画を描いてやり、それで弟は安楽に暮らしている。兄は弟のことを大器晩成の人間だと言い、大成するのを楽しみにしている。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

---

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

---

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

---

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

---

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(武者小路實篤「兄弟」による)

問1 傍線部(1)「

＊

」

とあるが、このときの「＊」の心情として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 

9
---

。

1 かねてからその実力を高く評価している弟の書いた字がよい出来栄であつたため、自分の高価な画と交換してでも、ぜひ手に入れたいと思っている。

2 弟の字の価値も分からず、「

＊
---

」と言う「＊」に腹を立て、自分の高価な画と交換することで、「＊」に弟の字の価値を知らしめようと思っている。

3 自分の高価な画と交換することによって、弟の字に対する世間の評判が上がるのではないかと考えて、損をしても弟のためにひと肌脱いでやろうと思っている。

4 満足のいく出来栄ではないと弟の字を高く評価してはいないものの、ただで書いた弟の字を、自身の戒めのために手元に置いておきたいと思っている。

問2 傍線部(2)「

\*

「とあるが、この発言の意図を説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 10。

1 兄は、不肖の弟を不憫に思い、せめて自分だけでも弟のことを認めてやらなければかわいそうだと考えて、弟の人間性に感心する振りをしているのだということ。

2 兄は、弟を大成させてやりたいという情や思い入れなどを含めて字を見ているため、その字の中に、書の道に精進している弟の姿を見ているのだということ。

3 兄は、弟が一人前の書家になれるまで導いてやらなければならぬという自分勝手な思い込みによって、本来の弟の人間性を見誤っているのだということ。

4 兄は、日本に優れた芸術家がないことを常に嘆いているため、世界に通用する域に達している弟を世に広めたいとの思いで、弟の字を見ているのだということ。

問3 傍線部(3)「

\*

「とあるが、その理由として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 11。

1 帰り際に泰山から「 \* 「と言われ、泰山に反発心覚え、泰山の言葉と反対に白雲に見せてやろうという気持ちになったから。

2 再び泰山に字を書いてももらったものの、この字を白雲が見たらどう評価するだろうかと気になって、白雲に見せずにはいられなくなったから。

3 以前泰山に書いてもらった字が白雲の画と交換してもらえたとを思い出し、また白雲の画と交換してもらえるかもしれないと思ったから。

4 泰山が「 \* 」の気に入っていた字をくれなかったことが心に引っかけ、泰山とのやり取りを白雲に話したくてどうしようもなくなったから。

問4 傍線部(4)「」

\*

「とはど

ういうことかを説明したものとして最も適切なものは、次の1〜4のうちではどれか。解答番号は **12**。

1 画を返したくない「\*」の気持ちを逆手にとって、強引に自分の希望を通そうとする、遠慮のない白雲の供をしなければならなくなつたということ。

2 訪問して帰ってきたばかりの泰山のところへ、今度は白雲を連れていくという、愚にも付かない訪問の供を強引にさせられることになつたということ。

3 機嫌の悪い泰山のところへ行きたくないと言っているにもかかわらず、その意を全く酌もうとしない無頓着な白雲の供をする事になつたということ。

4 泰山から「\*」と言われて追い出されたにもかかわらず、その発言に反する配慮に欠けた訪問の供をすることになつてしまったということ。

問5 傍線部(5)「」

\*

「とあるが、この部分に

ついて説明したものとして最も適切なものは、次の1〜4のうちではどれか。解答番号は **13**。

1 泰山は、兄への感謝の気持ちから「\*」の字を贈りたいと思つていて、白雲は、泰山の字の成功を祝いたいと考えていたが、「\*」はそのどちらの意図も十分に見透かしていながら、兄弟の意図どおりに行動させられてしまったということ。

2 泰山は、自分の字を白雲に見せるために、意図して「\*」にただで字を書いてくれ、白雲は、「\*」をだしにして泰山に字を書かせることによって泰山を教訓しようとしていたが、結果的に、「\*」の行動が泰山の成長の手助けとなつたということ。

3 泰山は、白雲を呼び寄せるためにわざと「\*」に対して不機嫌に振る舞い、白雲は、泰山に会うために意図して「\*」に口論を仕掛けてきたのだが、「\*」は二人の意図に全く気が付かず、まふんと二人の芸術家の兄弟に一杯食わされたということ。

4 泰山は、おせっかいな「\*」が白雲に「\*」の字を見せるだろうと思ひ、気に入った字を自分の手元に置いておき、白雲は、その意図を察して「\*」を口実に泰山のところを訪れていて、「\*」は図らずも二人の対面の橋渡しをさせられたということ。



問6 次の記述は、高等学校国語科「文学国語」を履修する生徒が、この文章を読んだ感想や表現描写について考えたことを発言した内容である。この発言を受けた教師の指導内容として最も適切なものは、後の1～4のうちではどれか。解答番号は 14。

生徒 私は、日本を背負って芸術に一心に打ち込む泰山、白雲のような芸術家の真摯な姿勢に心を打たれました。また、僕、泰山、白雲、の三人のやり取りの場面は、軽妙でありながら、絶妙な心理的駆け引きに富んだ表現となつているとともに、互いに対する尊敬や兄弟愛など、ほほえましい関係が描き出されていて、白樺派のリーダーである作者の力量が感じられる作品だと思えました。

1 「軽妙でありながら、絶妙な心理的駆け引きに富んだ表現となつている」という発言については、人間の美しさや偉大さを夢想する白樺派に特有の文学的態度であることを説明しつつ、「互いに対する尊敬や兄弟愛」については、近代の理想的な人間像を追求した自然主義文学に根差した表現であることを説明し、近代の作家の文学的傾向について理解を図るよう指導する。

2 「日本を背負って芸術に一心に打ち込む泰山、白雲のような芸術家の真摯な姿勢に心を打たれ」たという発言については理解を示しつつ、「白樺派のリーダーである作者の力量が感じられる作品」という発言については、作者独自の耽美主義の人生観や唯美主義的芸術観によるものであることを説明し、近代文学の主義や思想の変遷について理解を図るよう指導する。

3 「軽妙でありながら、絶妙な心理的駆け引きに富んだ表現となつている」という発言については評価しつつ、「互いに対する尊敬や兄弟愛」については、明るい理想主義的な人道主義の立場から描かれており、美醜併せもつ人間の全体像を鋭敏・明晰に把握しようとする白樺派以後の文学的傾向について紹介し、この作品についてももう一步踏み込んだ理解を図るよう指導する。

4 「日本を背負って芸術に一心に打ち込む泰山、白雲のような芸術家の真摯な姿勢に心を打たれ」たという芸術家のあるべき姿に言及した点については評価しつつ、「白樺派のリーダーである作者の力量が感じられる作品」という発言については、人間内部の多岐にして微妙な心理の表出から、疲労と倦怠の表白へと変化していった白樺派の文学的傾向について理解を図るよう指導する。

三

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

〔うつは物語〕「新編日本古典文学全集」から作成

問1 傍線部(1) 「 \* 」について説明したものと最も

適切なものは、次の1、4のうちではどれか。解答番号は 15。

- 1 蔵人たちは、帝が不思議に尊い読経をする者を連れてくるよう命じたことを受けて、長い間周囲を探し回ったが見付けることができなかったことを、不本意ながらも帝に申し上げている。
- 2 蔵人たちは、かつて恋焦がれていた人にもう一度会いたいと神仏に祈願しながら諸国を旅していた修行僧が、帝からの招きに応じなかったため、強引に連れてきたことを帝に申し上げている。
- 3 行い人は自分のことを、悟りを開こうという気持ちを諦めながらも、尊い仏の顔を一度だけでも拝見したいという願いから諸国を旅している修行僧であることを、蔵人たちに説明している。
- 4 行い人は自分のことを、仏道を極めようとする強い野心もすっかりなくなつたので、諸国を旅しながら仏の教えを説いて回っている僧であることを、物怖じせずに帝に申し上げている。

問2 傍線部(2)「

\*

」とあるが、その理由として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 16。

1 忠こそは、左大將が帝の問いに答えなかったことや、自分の素性について問われた右大臣が何も知らないと言ったこと、二人の忠こそを思う友情の深さを感じたから。

2 忠こそは、自分の誑経が左大將の涙を誘っていることや、帝に對してかつての榮華を思い起こさせるような深い感動を与え、褒美を与えようとする姿に感謝したから。

3 忠こそは、右大臣が自分のことを慮って涙を流したことや、かつて深い罪を犯して出奔した自分に対して、帝が思い出しながらも恩赦を与えた情の深さを理解したから。

4 忠こそは、左大將があえて何も奏上せずにいることや、自分の誑経をお聞きになった帝が古い記憶をあれこれ思い返した後、自分のことを思い出してくださったことが分かったから。

問3 傍線部(3)「

\*

」たものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 17。

1 病氣を患って参内できずにいた父を見舞うため、なかなか許可されない暇を無理に申し出たところ、肉親のためとはいえ職務を投げ出したとして父の機嫌を損ねることになったということ。

2 たとえ私を殺したとしても、お前の罪を責めないと言っていた強気な父が、病氣を患った途端に弱気になって参内を控えるようになったことが帝の怒りを買ってしまったということ。

3 恋に破れて憔悴しきっていたために、宮中に参内することもできない日が続き、出家することを決心して長い暇を帝に申し出たことが両親の期待を裏切ることになってしまったということ。

4 病氣を患った母を看病するため、宮中に参内できなくなった父が取得の難しい暇を帝に申し出たことが、帝の怒りを買うだけでなく周囲の信頼をも裏切ることになってしまったということ。

問4

傍線部 **I** から **III** の和歌について説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は **18**。

- 1 **I** の和歌は、忠こそを懐かしく思う気持ちを雲にたとえて、都に帰るよう求めており、**II** の和歌は、山辺に広がる都こそ雲のいるべき場所だと帝の提案を受け入れる心情を詠んだ歌であるため、左大将は **III** の和歌で、心の底からの喜びを詠んでいる。
- 2 **I** の和歌は、忠こそその経を山の端にたとえて経を広く知らしめよと詠んでおり、**II** の和歌は、山には安住の場所がなく都への帰還を望む忠こそその心情を詠んでいるため、左大将は **III** の和歌で、安堵の気持ちを詠み、忠こそを迎え入れようとしている。
- 3 **I** の和歌は、忠こそを雲にたとえて、忠こそに今一度上京するよう促しているが、**II** の和歌は、山にも都にも安住の地を見付けられない自分の現状を嘆く歌であるため、左大将は **III** の和歌で、意外な再会を喜ぶ気持ちを詠んで忠こそに同行を求めている。
- 4 **I** の和歌は、帝と忠こそとの再会を山と雲にたとえて自然なことであると詠んでいるが、**II** の和歌は、山に降りられない雲の様子から、帝の喜びに恐縮している様子を詠んだ歌であるため、左大将は **III** の和歌で、二人を和解させようとしている。

問5

二重傍線部 A、Dの「に」のうち、同じ意味の助動詞の組合せとして最も適切なものは、次の1～6のうちではどれか。解答番号は **19**。

- 1 AとB
- 2 AとC
- 3 AとD
- 4 BとC
- 5 BとD
- 6 CとD

問6 次の記述は、高等学校国語科「古典探究」を履修する生徒が、この文章を読んで考えたことを発言した内容である。この発言を受けた教師の指導内容として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 20。

生徒 物語の途中に和歌を挿入することで、登場人物の心情を細やかに描き出そうとする構成には、「伊勢物語」などの歌物語との関連を強く感じました。また、情景の描写や帝と忠こそその会話でのやり取りは、事実をそのまま切り取ったような記録的な文体であることから、歴史物語のように史実を基にした物語なのではないかと感じました。

1 「物語の途中に和歌を挿入することで、登場人物の心情を細やかに描き出そうとする構成」に歌物語との関連を見いだしたことについては評価しつつ、和歌の主題が眼前の風景や自然への賞賛である点が、他の歌物語と異なる大きな特徴であることを理解させるため、別の章段を併せて紹介しながら説明し、後に書かれた「源氏物語」に登場する叙情的な和歌と対比させて指導する。

2 「情景の描写や帝と忠こそその会話でのやり取りは、事実をそのまま切り取ったような記録的な文体である」という発言については理解を示しつつ、他の歴史物語の文体や構成と比較させることで、特定の登場人物の伝記を中心に編纂する歴史物語の構成上の基本的な特徴を説明しながら、後に書かれた「伊勢物語」に通じる客観性と写実性について理解を図るよう指導する。

3 「物語の途中に和歌を挿入することで、登場人物の心情を細やかに描き出そうとする構成」を歌物語との関連で読み取ったことは評価しながらも、豊かな心情描写は和歌以外の部分にもあることを指摘し、歴史物語の特徴と比較しつつ、豊かな心情描写こそが物語の豊かさを生んでいることを説明し、後に書かれた「源氏物語」に通じる物語性について理解を図るよう指導する。

4 「情景の描写や帝と忠こそその会話でのやり取りは、事実をそのまま切り取ったような記録的な文体である」という発言については理解を示しながらも、一方で、この物語は和歌を用いて登場人物の心情を表現する構成があることを指摘し、後に書かれた「伊勢物語」や他のジャンルの古典文学との比較を通じて心情描写に重点が置かれていることについて理解を図るよう指導する。

**四**

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。(設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。)

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

〔小学〕「新釈漢文大系第3巻」から作成

問1 傍線部(1)の解釈として最も適切なものは、次の1～4のうちでは

どれか。解答番号は

**21**

。

1 人が他人の失敗について口にして聞かされたとしても、子が父母の名を口にできないのと同じように、あなたたちには決して人の失敗を口にしないようにしてほしい。

2 人の短所はよく耳にするが、人の長所は話題に上りにくいものであるため、子が父母の短所や名声を口にすべきでないように、あなたたちは人の評判を口にすべきではない。

3 あなたたちは、人の短所を突いて言い負かそうとする傾向にあると聞いているが、子が父母の短所を突いて名を汚すことがないのと同様に、安易に人を言い負かしてはならない。

4 人の意見に真摯に耳を傾けられるようになるためには、子が父母の言いつけを素直に聞くのと同様に、人が意見を言う前に、軽々に自分の意見を言わないようにした方がよい。

問2 傍線部(2)について次の①、②の各問に答えよ。

① 傍線部(2) 「を」を「むしろしすともし

それにこのおこなひあるをきくをねがはず。」と読むとき、これに返り点を付したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 22。

- 1 掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。
- 2 掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。
- 3 掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。
- 4 掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

② 傍線部(2)の内容を解釈したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 23。

1 自分の子孫に、民の命や人生を軽視して、机上の理論だけで戦のことを論ずるような者がいるとするならば、親としては自らの人生を恥じて世を辞すべきである。

2 もし子孫が、分別もなく政治のことを批判したり、人の短所に聞き耳を立てて騒ぎ立てたりするような不慮の者がいるならば、親として速やかに自決すべきである。

3 自分の子孫に、人の短所を言い立てたり、政治や国の法は是非について軽々しく口にしたたりするような者がいると聞くくらいならば、死んだ方がましである。

4 もし子孫が、他人を陥れて富を築き、恥じることなく財力をもって政治を操ろうとするならば、先祖は死後に災いとなってその行いに報いると心得ることが大切である。



問3 傍線部(3)「 \* 」の理由として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 24。

- 1 謙虚で節約家でありながら、事を成すときに威風堂々としている龍伯高のような人を手本にすれば、たとえ伯高ほどにならなくとも、慎み深い立派な人物になれると考えているから。
- 2 豪気で人の情に厚く、他人のために我が身を省みず尽くせる龍伯高のような人を手本にすれば、たとえ伯高ほどにならなくとも、人から信頼される人物になれると考えているから。
- 3 戦の才覚があり、義を重んじながらも賢者も愚者も区別せず扱う杜季良のような人物を手本にすれば、季良ほどにはなれなくとも、人から愛される人物になれると考えているから。
- 4 自分の生活は質素でありながら、人のためならば財を惜しまず援助する杜季良のような人物を手本にすれば、季良ほどにはなれなくとも、人を導く指導者になれると考えているから。

問4 傍線部(4)「 \* 」の解釈として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 25。

- 1 虎になろうと努力する行為こそが、狗を虎たらしめるといわれるように、杜季良のように天下に名を残す武将になろうと努力することこそが、人を成長させるものであるということ。
- 2 虎の絵を描いて失敗すると、かえって狗に似たものになるといわれるように、杜季良のようになろうとして失敗すると、季良とは全く似ても似つかないものになってしまうということ。
- 3 駆け出しの画家が立派な虎の絵を描くことは難しいように、身の低い者が立身出世を成すことは難しいが、狗のように我慢強く辛苦に耐えることで、出世への道は開けるということ。
- 4 虎を描こうとすれば、不格好でも狗には似るといわれるように、杜季良のような気高い人物が政治を行うことで、たとえ失敗しても崇高な理念を国に反映することはできるということ。

**五**

学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

問1 中学校学習指導要領国語の「各学年の目標及び内容」の「第2学

年」の「内容」の「読むこと」に関する記述として適切なものは、

次の1～5のうちのどれか。解答番号は **26**。

- 1 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。
- 2 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。
- 3 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。
- 4 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。
- 5 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。

問2 高等学校学習指導要領国語の「各科目」の「現代の国語」の「内

容」の「読むこと」に関する記述として適切なものは、次の1～5

のうちのどれか。解答番号は **27**。

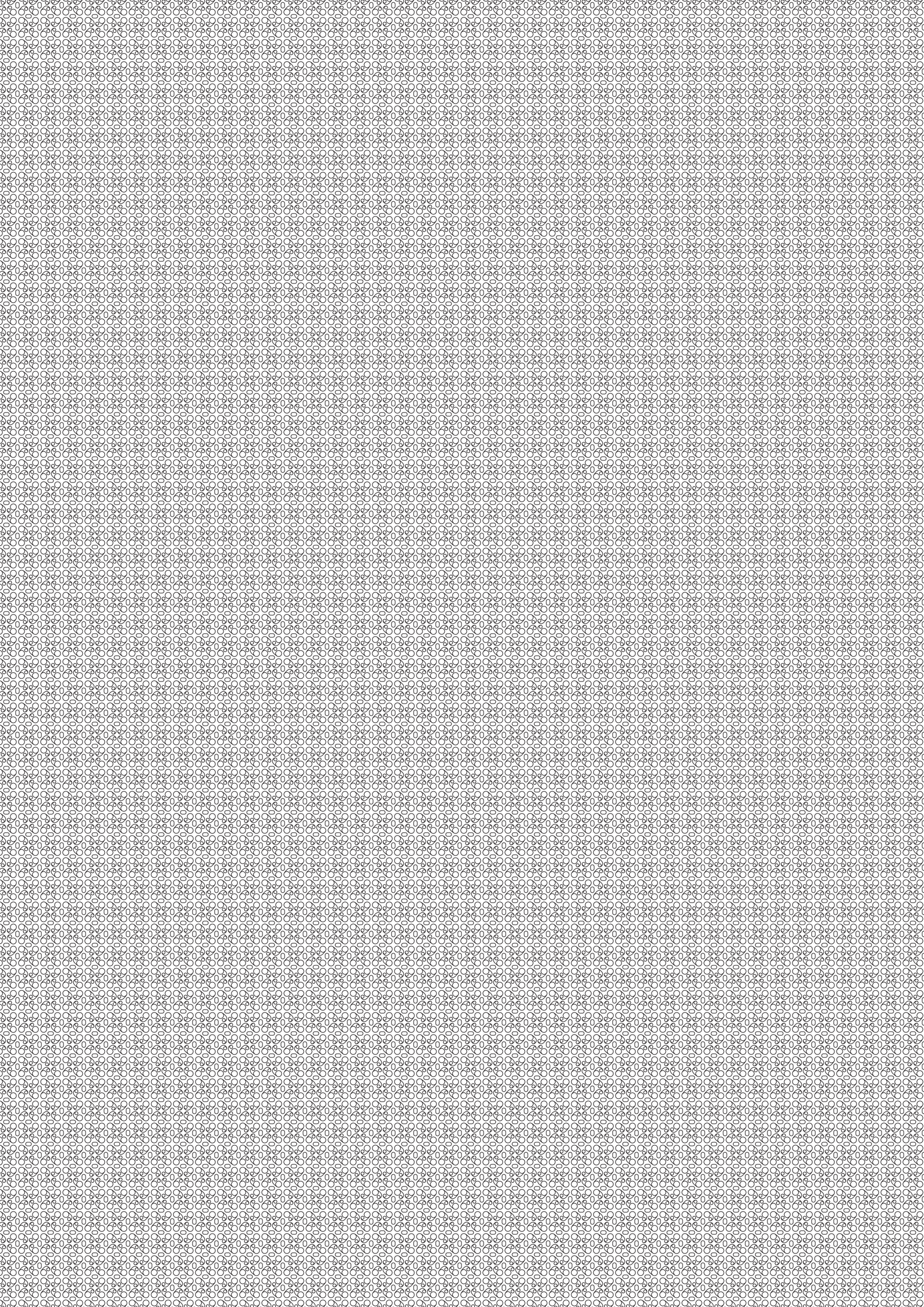
1 書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。

2 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

3 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。

4 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。

5 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。



3 問題文中の  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などの  $\square$  には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1)  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$  に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$  に  $-\frac{4}{5}$  と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$  として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$  に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

4 「ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は  $\boxed{11}$ 、 $\boxed{12}$ 、 $\boxed{13}$ 。」と表示のある間に対して、2と5と8と解答する場合には、次の(例4)のように「②、⑤、⑧」の順にマークします。

このとき、「②、⑤、⑧」以外の「⑤、②、⑧」や「⑧、②、⑤」などの順にマークした場合には、不正解となります。

(例4)

解答番号	解答欄
$\boxed{11}$	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{12}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{13}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖

## 2 (3 採用) 【 中・高等学校共通 国語 】

問 題 番 号		解答番号	正答 1	正答 2	正答 3	配点	備考
大問番号	小問番号						
一	問1	(ア)	4			2	
		(イ)	2	3		2	
		(ウ)	3	1		2	
	問2		4	4		4	
	問3		5	3		4	
	問4		6	1		4	
	問5		7	2		4	
	問6		8	4		6	
二	問1		9	1		4	
	問2		10	2		4	
	問3		11	2		4	
	問4		12	4		4	
	問5		13	4		4	
	問6		14	3		6	
三	問1		15	2		3	
	問2		16	4		3	
	問3		17	1		3	
	問4		18	3		4	
	問5		19	2		4	
	問6		20	3		5	
四	問1		21	1		3	
	問2	①	22	4		3	
		②	23	3		4	
	問3		24	1		3	
	問4		25	2		5	
五	問1		26	3		3	
	問2		27	5		3	